

大井中学校生徒の皆さんへ

ふじみ野市立大井中学校  
PTA 会長 神木宏晃

新型コロナウイルスの関係でとても短い夏休みが終わり、90日という長い2学期が始まりました。例年であれば合唱祭や修学旅行、部活動にと活気あふれる2学期も今年度は学校行事が中止となり、学習中心の2学期となりました。生徒の皆さん、残暑が厳しい中、感染症対策を取りながらの学校生活は大変なことも多いと思いますが、「私たちは二度とない貴重な経験をしている」と前向きに現在の状況を捉え、意欲的に学校生活に取り組んでほしいと思います。

さて、皆さんは、萩生田光一文部科学大臣からのメッセージを読んで、何か感じたことはありましたか。私はメッセージを読んで、今年の入学式や始業式で皆さんにお伝えしたかった内容と共通する部分も多く、とても共感できました。また、同時にメッセージに書かれていることを実現するために大切なことや心構えなどについて皆さんに伝えたいと思い、このメッセージを送らせていただきます。

皆さんが大井中学校で沢山の仲間と楽しい学校生活を送り、思いやりのある優しい人になるために考えてほしいことがあります。それは毎日の生活の中で言葉を発する時や行動の前に「**その言葉やその行動を自分に言われたり、されたら、自分はどう思うのか**」ということです。

私が小学校から中学校に進学する時のことです。それまで私のわがままに従わせていた子からの仕返しを受けました。私はその子からの仕返しを受けて初めて、自分が従わせていた子が今までどんな気持だったのかということに気付くと共に苦しさや孤独感を感じました。私は「仕返しされて当然の行いをしてきた」と猛省しました。そして「二度と同じ過ちを繰り返さないためにどうしたらよいか」を考え、導き出した答えが「**自分がやられて嫌な事は相手にしない**」ということでした。私はこの日から今まで、この言葉を大切に生きています。

その後の私は温かい言葉をかけてくれる友達や先生方に支えられ、楽しく充実した中学校生活を送ることができました。仕返しをうけた子とも今では同窓会などで「昔はすまなかったね」と笑い合い、許し合える仲間となっています。

私たちが暮らす現代社会には、昨今のコロナ問題に限らず、差別や偏見、誹謗中傷が後を絶ちません。「自分がやられて嫌な事は相手にしない」この言葉を皆さんが実践したらいじめや偏見、誹謗中傷等がなくなります。人間は完璧ではなく、一時の感情に流されて良い方向へ進めない時や過ちを犯してしまうこともあるかもしれません。そうなりそうな時もこの言葉を胸に行動していくことで、自分の弱さを克服し、思いやりのある、優しい人へと成長させてくれると思います。この言葉は皆さんが社会に出ても通用する、魔法の言葉です。心に大切にしまっておいてください。

大井中学校PTAや学校応援団、地域の方々は皆さんのより良い成長を願い、全力で応援しています。皆さんも限られた活動の中での学校生活を迷う事なく充実させてください。挨拶運動でお会いしましょう！

令和二年九月

神木 宏晃